

家族ぐるみ、地域ぐるみで 防 災 を

9月1日(日)に総合防災訓練 積極的な参加を

本年の狛江市総合防災訓練は、九月一日(日)午前八時四十分から、市民グラウンドと多摩川緑地公園グラウンド(河川敷)の二会場で行います。家族ぐるみの積極的な参加をお願いします。

ある程度の切迫性を有していると考えられているマグニチュード七級の南関東地域直下型地震を想定し、防災関係機関や多くの市民の皆さんの協力を得て、訓練を実施します。

なお、当日は、図で示すところ、地域別に二会場に分かれて、河川敷会場で九時十五分

大震災時には倒壊物等で道路が通行不能となったり、電気・ガス・水道や通信網等が切断されることもあり行政機関の対応には限界があります。被害をいかに少なくする場合は、市民一人ひとりの自覚と日常の備えにかかっています。「わが街はわが手で守る」をモットーに防災行動力を高め、家族ぐるみ、地域ぐるみで災害に対応しましょう。当日、会場に來られない方も

“わが街はわが手で守ろう”

ますので、防災会の指示に従うようお願いいたします。地域によっては、訓練会場は実際の災害時の最寄りの一時待避所、避難場所とはなりませんので、ご注意ください。

訓練終了は、河川敷会場は十時三十分ごろ、市民グラウンド会場は十一時ごろの予定です。

各家庭で次の訓練や日常の対応をお願いいたします。
◇大揺れやその後の火災から身を守るため、次の行動を心掛けてください。
(1)グラツキとたたら火の始末。
(2)テーブル等の下に身をふせる。
(3)戸を開いて出口の確保、あわてて外に飛び出さない。
(4)門や扉には近寄らない。
(5)被害を最小限にするために、日ごろより、次の備えを実行してください。
(1)「出火防止」、「初期消火」はあなたの役目、火の元の安全確認の習慣。
(2)家具類の転倒防止、室内落下物の整理。
(3)家や周りの点検、補修(プロック塀、プロパンガスのボンベ等)。
(4)非常時持ち出し品の準備(食料、燃料、応急医薬品等)。飲料水のくみ置き、確保。
(5)風呂水のため置き(トイレ水としてお試しください。消火水にも利用できます)。
(6)一時待避所、避難場所の確認と集合場所についての家族での話し合い。自動車での避難はしないこと。
(7)体の不自由な方など、自力で避難できない方への援助や連絡方法(耳や言葉の不自由な方が緊急時の意思伝達手段として、市で配布したカードを用いることがあります。ご協力をお願いします)。
なお、市では、防災について理解を深めていただくため、ビデオテープ(手話通訳付あり)や、プロック塀等の「鉄筋探索器」の貸し出し、また、緑を守り地震時に安全な生け垣の造成に対する助成を行っていますので、ご活用ください。
詳細は総務防災課。



いざという時の備えを万全に

市長 石井三雄



わが国は、各種の災害が発生しやすい自然条件下にあり、近年の都市化の進展も災害発生時の被害を増幅させるおそれがあります。

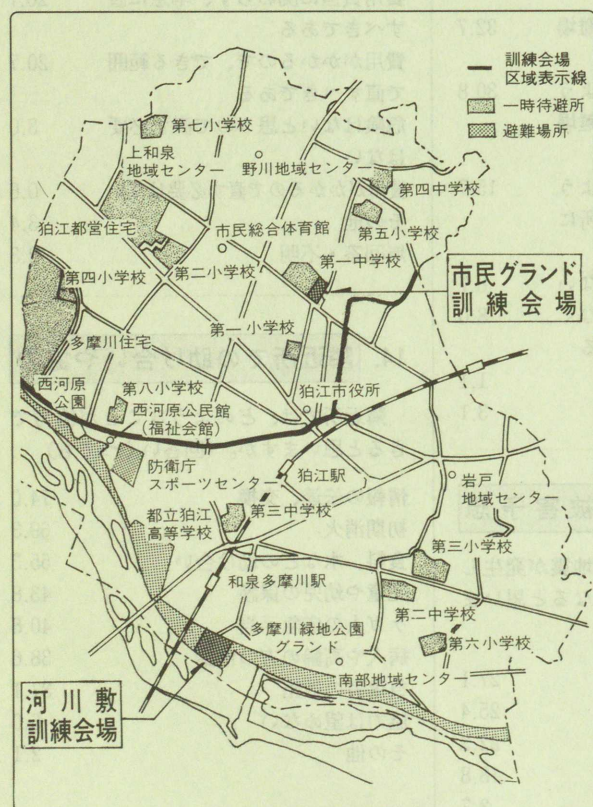
折しも、長崎県の島原市や深江町では、火山災害により、尊い人命と貴重な財産が失われました。

ここに改めて、亡くなった方々のご冥福と、避難されている方々が安心して生活できるよう、火山活動が一日も早く終ることをお祈り申し上げます。さて、「南関東地域における直下型大地震の発生については、

ある程度の切迫性を有している」と言われております。昭和四十九年九月の多摩川堤防決壊も、当市にとりましては忘れられない災害です。

九月一日は防災の日です。今年はその日が日曜日となりますので、家族ぐるみ、地域ぐるみで総合防災訓練に参加される良い機会だと思えます。ぜひ、総合防災訓練に参加して、非常持ち出し品や食料の点検、避難場所等の確認など、いざという時の備えを万全にされますようお願い申し上げます。

大震災時の {一時待避所} と訓練会場



狛江市防災会支部名一覧

市民グラウンド訓練会場
和泉第1支部
セントラルハイツ支部
北和泉支部
狛江団地支部
和泉第2支部
上和泉支部
多摩川住宅イ号棟支部
小足立支部
覚東支部

河川敷訓練会場

和泉第3支部
駄倉支部
銀行町支部
和泉多摩川支部
岩戸支部
猪方支部
駒井支部

1. 大地震に対する不安度

大正12年の関東大地震のような大地震が狛江市地域に発生することについて、どの程度不安に思いますか。(回答1つ)

非常に不安に思う	38.0
かなり不安に思う	33.7
少しは不安に思う	20.9
あまり不安に思わない	5.9
まったく不安に思わない	0.3
無回答・不明	1.2

2. 大地震の被害予想

関東大地震のような大地震が発生したら、被害はどうなると思いますか。(都心部、狛江市地域の被害について、各々回答1つずつ)

〈都心部〉	
関東大地震以上の被害	66.2
関東大地震以下だが大きな被害	31.1
比較的小さな被害	1.3
無回答・不明	1.5
〈狛江市地域〉	
関東大地震以下だが大きな被害	45.9
関東大地震以上の被害	42.8
比較的小さな被害	9.2
無回答・不明	2.1

3. 大地震発生時の心配事項

狛江市での大地震発生時の心配事項について(回答4つまで)

火災の発生	76.5
電気、ガス、水道の途絶え	59.2
ガスなどの危険物の爆発	44.2
電話等の通信網の混乱	38.6
交通機関の混乱	31.0
地震動や液状化現象による建物の倒壊	17.7
パニックの発生	17.7
浸水・堤防の決壊	15.4
情報の混乱	14.8
医療体制の混乱	12.9
ブロック塀などの倒壊	12.9
看板、ガラス等の落下	12.4
高層住宅で避難ににくいこと	9.6
地割れ	8.9
橋などの倒壊	4.3
崖くずれ、土砂くずれ	1.3
その他	0.5

4. 地震発生時の行動

在宅中に、地震が発生した時の行動について(家具が揺れ動く程度の軽い地震、家具が倒れたりする激しい地震について、各々回答1つずつ)

〈軽い地震〉	
使っている火を消す	74.8
そのままの状態様子を見る	18.3
戸を開いて様子を見る	4.7
丈夫なテーブルなどの下にもぐって身を守る	0.3
外へ飛び出す	0.2
その他	0.2
無回答・不明	1.4
〈激しい地震〉	
使っている火を消す	83.7
戸を開いて様子を見る	7.2
丈夫なテーブルなどの下にもぐって身を守る	4.2
そのままの状態様子を見る	1.9
外へ飛び出す	1.7
その他	0
無回答・不明	1.4

狛江市防災意識調査結果の概要

※集計数値をお知らせします

サンプル数 949 人 単位：％

狛江市では、本年1月、防災意識調査を実施しました。ご協力をいただいた市民の方に、紙上をお借りしてお礼を申し上げます。

以下、調査結果の概要をご報告します。

平成2年10月1日現在の住民基本台帳より無作為に抽出した1,800人を対象に、郵送により調査を行った結果、949の有効回答が得られました。

有効回答の内訳は、男性423人、女性526人、また年齢層別には、20代196人、30代159人、40代171人、50代206人、60代138人、70代以上79人でした。

この集計結果を参考にして、さらに防災意識を高め、各家庭での非常時の備えを万全にされるようお願いいたします。

5. 地震に対する備え

家庭で、地震に備えて何か準備をしていますか。(回答いくつでも)

懐中電灯	75.4
携帯ラジオ	54.0
風呂の水のためおき	46.6
消火器	46.3
ローソク	43.2
現金、通帳などの貴重品の持ち出し	34.8
リュックサック等の避難用収納袋	28.3
非常用の食料	27.9
避難場所、避難経路の確認	25.3
緊急医療品	24.9
非常用の飲料水	20.9
非常時の連絡方法などの家族での話し合い	19.8
家具類の固定、転倒防止	14.0
防災頭巾、ヘルメット	12.1
特に何もしていない	9.7
三角バケツ	7.3
その他	0.8

6. 狛江市総合防災訓練への参加状況

毎年実施される狛江市総合防災訓練に参加したことがありますか。(回答1つ)

勤めの関係、家事などのため参加できなかった	42.0
「狛江市防災訓練」のことを知らなかった	20.8
時々参加していた	9.1
参加する必要性を感じなかったので参加しなかった	9.0
身体・健康上の問題、高齢などの理由で参加できない	7.2
会場が遠方なので参加できない	3.3
ほとんど毎年、参加している	2.0
その他	5.8
無回答・不明	0.9

7. 自主防災組織への参加意思

自主防災組織の活動に参加したいと思えますか。(回答1つ)

勤めの関係、家事などで参加する時間的余裕がない	34.2
自主防災組織のことを知らなかった	18.7
非常時には参加し活動する	18.4
内容をよく聞いてから決める	11.2
身体不自由、高齢などで参加できない	8.2
普段から積極的に参加し活動する	1.8
自主防災組織の活動に参加する	1.7
必要を感じない	2.0
その他	2.0
無回答・不明	3.8

8. 一時待避所、避難場所の周知度

大震災広域避難対策として、市内各小中学校等を一時待避所に、多摩川左岸一帯を避難場所に指定していることを知っていますか。(回答1つ)

知っている	80.8
知らなかった	16.5
無回答・不明	2.6

9. 避難時の対応

避難指示などが伝えられた場合、どうしますか。(回答1つ)

指定された一時待避所、避難場所に行く	32.7
しばらく様子を見て危険なようであれば、一時待避所、避難場所に避難する	30.8
しばらく様子を見て危険なようであれば、近くの安全な場所に避難する	15.7
その時にしないとわからない	8.7
一時待避所、避難場所ではなく、近くの安全な場所に避難する	8.0
避難はしない	1.1
無回答・不明	3.1

10. 自己の住居の被害予想

関東大地震と同じ程度の地震が発生したら、あなたの住居はどうなると思いますか。(回答1つ)

壁などに、きれつができる	27.1
つぶれないが傾く	25.4
わからない	22.3
つぶれてしまう	18.8
なんともならない	3.7
無回答・不明	2.7

11. 災害時の一時住居

災害で、自宅にしばらく住めなくなったら、どうしますか。(回答2つまで)

指定された避難所に行く	58.0
自分で住める所を探す	23.3
実家に行く	22.3
親類の家に行く	22.3
友人、知人の家に行く	8.5
その他	4.1

12. 非常用食料の用意

非常時に持ち出せる食料として、何日分位を用意していますか。(回答1つ)

非常用食料として、すぐ持ち出せる用意がしてある。

1日分位	7.1
2～3日分位	14.4
4～5日分位	2.6
6日以上	1.4
特に非常用食料としては用意していないが、日常の食料品の中から持ち出せることができる。	19.2
1日分位	31.8
2～3日分位	8.2
4～5日分位	3.0
6日以上	9.6
まったく非常用食料を用意できない	3.3
無回答・不明	3.3

13. ブロック塀などに対する考え方

危険なものが多いと言われているブロック塀などについて、どのように考えますか。(回答1つ)

今すぐ直す必要までは認めないが新築や改築の時には、危険のない塀、生け垣などに変える必要がある	43.4
費用負担に関わらず、早急に直すべきである	26.7
費用がかかるので、できる範囲で直すべきである	20.7
危険はないと思うので直す必要はない	3.0
費用がかかるので直す必要はない	0.6
その他	3.4
無回答・不明	2.3

14. 隣近所での助け合いや協力

隣近所では、どのようなことが協力できると思えますか。(回答いくつでも)

情報の伝達、交換	74.0
初期消火	69.3
食料、水などの助け合い	55.3
児童や幼児の保護	43.8
ケガ人の応急手当	40.8
病人や高齢の方の世話	38.6
負傷者の救出	37.1
協力は望めない	6.0
その他	2.1

